

【精神障害者の自立と家族のあり方

「親なきあと」ではなく「親ある間」に家族も本人も幸せになる社会にかえよう】(南部紹介)

月刊みんなねっと 2023年12月号に掲載されていた兵庫県豊岡保健所長の柳尚夫様の投稿記事に感銘を受けましたので、紹介させていただきます。

【当保健所の事例紹介】

<退院までに地域移行支援で行った支援>

相談支援専門員とピアが本人と週に1回面接し、本人の希望や不安を聞きながら一緒に退院準備を進めた。長年空き家になっていた自宅を見に行き、掃除や修繕を手配した。布団や電化製品を買いに行くなど生活準備を進めた。就労継続支援B型事業所を見学し、自宅への体験外泊を繰り返し退院後の定着支援を申請して24時間相談体制を確保した。4か月後に自宅へ退院した。

<退院後の支援>

本人、ピアと相談支援相談員が民生委員宅へ挨拶に行くと『帰れて良かったな』と声を掛けてくれた。調子を崩すこともあるが、ピアの定期訪問やその他のサービスで再入院することなく一人暮らしを継続している。

<本人の感想>

退院準備をピアと取り組んで『自分でもやれる』と自信がついた。ピアと一緒に悩んでくれる仲間、友達みたいな存在。もっと早く退院したらよかった。一人暮らしは不安もあるが、彼女とのデートや友達との付き合いなど、多くの楽しみがある。

<在宅サービス>

地域定着サービス、ホームヘルパー、金銭管理、訪問看護

以上

<賛助会員募集>

こころの病いに苦しむ方々の地域支援を主目的に賛助会員を募集します。その趣旨を下記に説明します。

1. 明石市近郊にてこころの病いに苦しむ方々のために何が出来るかを考え、そのための資金として活用します。使途も明確にします。
2. こころの病いに苦しむ方々への病気に対する知識、リハビリのための講習会の開催を目指します。
3. 賛助会員になって頂いた方には、明石ともしび会ニュース、総会資料等を配布します。
4. 明石ともしび会ニュースにて賛助会員をご紹介します。
5. 総会にて、賛助会員のご紹介と賛助金の使途について、ご報告致します。

会費納入方法は、同封の手数料無料の郵便局の振込用紙にてお願いします。

口座記号及び口座番号:00980-7-166023



賛助会員:(個人)入会金0円 年会費1,000円・(法人)入会金0円 年会費10,000円

お問い合わせ先 NPO 法人明石ともしび会 理事長 南部 和幸

〒673-0871 兵庫県明石市大蔵八幡町7-11

電話番号 078-912-4433 (さくら工房) 携帯電話 070-1345-8997

E-mail sakura_koubou6687@car.ocn.ne.jp

編集後記 令和5年度から高等学校の保健体育で『精神疾患』について学習するようになりましたが、保健体育の先生からの授業内容の報告が『こころの元気+』1月号に下記のように掲載されていました。『精神疾患の特徴』、『精神疾患の予防』、『精神疾患からの回復』の授業を行っている。一方的な説明ではなく、対話やグループミーティングで話し合う時間を作っている。生徒には、精神疾患の悩みを持っている方も中には居ると仮想して、『精神疾患は意志の弱さで起こるものではないこと』、『その状況に自分で気づくことができる、周りも変化に気づける、周りから援助を勧められるようになって欲しい』と説明しています。不調の際は我慢せずに相談することも大切と伝えていきます。更に、相談を受けた際に先生も正しく答えられるように学習することが大切です。

(南部)